

平成21年度施政方針(抜粋)

『だれもが安全・安心に暮らせるまちづくり』

- 国際交流員(CIR)を採用し市民の国際感覚を醸成
- 河原保育所内に地域子育て支援センターを前倒し開設
- 住宅耐震診断や住宅改修助成により市内建築物の耐震化を促進
- 災害時簡易型トイレを市内広域避難所へ配備
- 近鉄新田辺駅東側とJR三山木駅にエレベーターを設置

『快適で活力に満ちたまちづくり』

- JR三山木駅の高架下を利用した大規模な駐輪場の整備
- 「近鉄興戸駅西整備基本計画」の策定
- 市内一斉清掃活動をはじめとした市民活動の推進
- 省エネルギー対策を実施しエコオフィスの推進
- 甘南備園焼却施設建て替えに関する基本構想の策定
- 転入者へ茶器と玉露の茶葉を記念品として贈呈

『心にうるおいのあふれるまちづくり』

- 幼稚園キララ体験事業により、地域の人々とのふれあいなど多様な活動の体験による生きる力の育成
- 学校校舎等の耐震改修を計画的に推進
- 学校給食調理業務の民間委託に向けた実施計画の策定
- 図書館の図書貸出しシステムの更新による利便性の向上
- 有料運動公園施設の指定管理者制度導入に向けた準備の実施

平成21年度当初予算会計別内訳

(単位：千円)

年度別	平成21年度	平成20年度	比較	増減率
会計名				
一般会計	21,350,000	19,550,000	1,800,000	9.2%
特別会計	11,268,100	11,460,700	▲192,600	▲1.7%
休日応急診療所	22,400	22,600	▲200	▲0.9%
松井財産区	6,500	14,100	▲7,600	▲53.9%
老人保健	144,200	535,700	▲391,500	▲73.1%
国民健康保険	5,263,200	5,371,900	▲108,700	▲2.0%
介護保険	2,595,300	2,355,500	239,800	10.2%
後期高齢者医療	503,800	499,800	4,000	0.8%
公共下水道事業	2,668,100	2,592,900	75,200	2.9%
農業集落排水事業	64,600	68,200	▲3,600	▲5.3%
水道事業会計	2,718,400	2,582,400	136,000	5.3%
合計	35,336,500	33,593,100	1,743,400	5.2%

山手幹線へのバス運行を

早期運行を要望

①平成21年度予算について、現下の厳しい財政状況の中、積極型予算とした考えは、市長 基金などの財源



バス運行が望まれる山手幹線新地内

を有効に活用し、市民生活の向上を図り、将来にわたる持続的発展を可能にする予算とした。

②新たな財源確保に向けた方策は、

市長 新産業の創出、企業誘致、市街地整備などの長期的視野に立った取り組みや、遊休資産の売却、新たな広告収入の確保などに努めたい。

③「定額給付金」を活用したプレミアム付商品券

④緊急雇用創出事業交付金を活用し、雇用創出を図るべきと考えるが、

市長 本市における雇用状況は深刻と認められないが、今後こういった交付金の活用を検討したい。

⑤公共交通の整備について、山手幹線へのバス路線の運行の早期実施をすべきと考えるが、

市長 今後もバス事業者と協議を進めたい。

⑥広報広聴機能充実と市民サービス向上へ、ホームページの改善を。

市長 平成21年度に新しいソフトウェアを導入し、アクセシビリティの向上を図りたい。

⑦バリアフリー基本構想の策定に向け、今後の取り組みについて問う。

市長 平成22年度をメドに、基本構想策定に向け協議会を設置し、各方面から幅広い意見を聴き進めてまいりたい。

⑧通学路安全点検調査事業の進捗状況は、

教育長 緊急性の高い防犯に係る啓発看板は設置した。交通安全に係る信号機や横断歩道の設置は、今後、中長期的に進めていきたい。

公明党

(櫻井 立志 議員)

の発行など、地域活性化、消費拡大を図るべきと考えるが。

市長 現下の厳しい経済情勢の中で、消費を拡大し、景気回復することは重要と認識しているが、効果等を鑑みて、現在のところ考えていない。

⑨子育て世代の期待に

平成22年度以降も当面、待機児童の発生は解消される見込み。北部地域においては、今後も開発に伴い児童数の増加が見込まれ、出来るだけ早く整備を進めたい。年度を越えて待機のため、認可外保育所に入所する児童は発生しておらず、認可外保育施設や利用者への助成は考えていない。

教育長 4歳・5歳児を対象に、全幼稚園で預

保育所待機児童の解消は

21年度は全員入所できる

民主党議員団 (米澤 修司 議員)

①子育て世代の期待に

②高齢者だけで暮らす

から保育を実施している。保育所機能を持たせることとは考えていない。

市長 高齢者が住みながら保育を実施している。高年齢者が安心して暮らしていくための防犯や医療、介護、買い物などについての施策が必要と思うが、介護施設への入所待機者が一層増えることが予想されるが市の施策は、

③安さを追求するだけの競争入札から、公共サービスの質の向上、環境、人権、雇用の安定など総合的に評価し、業者を選定する公契約条例の制定が全国の自治体で進められているが市の考えは、

市長 自治体などにおいて、法整備の要望もあることから、今後の研究課題と考える。



保育所入所式で園児を歓迎 (河原保育所)

し続けていくためには、介護、福祉、医療などの行政サービスの充実と、地域で支えあう仕組みづくりが必要。また高齢者自身が健康で社会の一員として積極的な活動が続けられるよう支援したい。介護施設の入所待機者対策は山城北保健所で広域的に進めている。